

令和 7 年 6 月 25 日

市政記者クラブ 様

環境局環境企画部環境企画課
堀田、木綿 電話：972-2669
(国土交通省と同時発表)

「先導的グリーンインフラモデル形成支援」重点支援団体への選定 について

このたび、国土交通省の「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として本市が選定されましたので、お知らせいたします。

1 先導的グリーンインフラモデル形成支援

国土交通省の「先導的グリーンインフラモデル形成支援」は、グリーンインフラ実装に取り組む地方公共団体に対し、先導的なグリーンインフラモデルを形成するための支援を行い、事例の全国への展開を目指すもので、令和 2 年度に創設されました。

公募により各年度 3 団体程度が重点支援団体に選定されており、重点支援団体には、国土交通省が委託契約したコンサルタントや専門家の派遣等により支援が行われます。

支援メニューは、グリーンインフラ^{*1}の効果の見える化や新技術・DX 活用の検討、効果的な資金調達手法の検討、地域における連携体制の構築等となっています。

(参考 URL)

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000015.html



2 グリーンインフラに関する本市の取組状況

本市では「名古屋市総合計画 2028」に「グリーンインフラの取り組みによる自然共生社会の実現」を掲げており、令和 7 年度、環境局が関係局と連携し「グリーンインフラまちづくりの推進^{*2}」として、ガイドラインの策定をはじめとする複数の事業を実施しています。

このうち、ガイドラインは、市民・事業者・行政を対象に、グリーンインフラ導入にかかる基本的な考え方や効果的な取り組み事例などを示すものとして、年度内の策定を目指しています。

3 本市が受ける支援内容

支援内容は、ガイドライン策定に向け、国内外の成功事例及び実践手法等に関する技術情報の提供や有識者等からの助言を得るものです。

<参考>

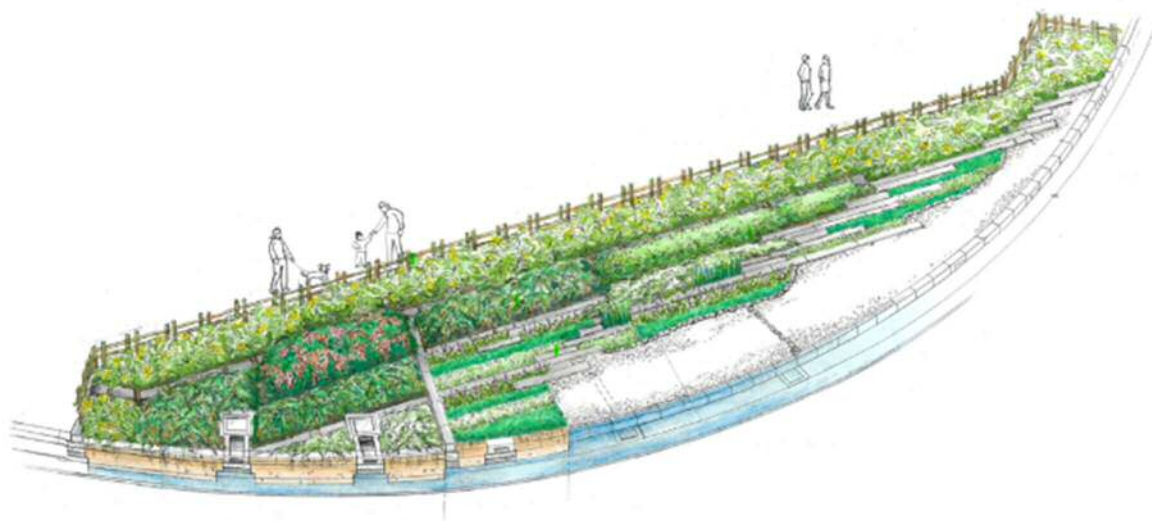
※1 グリーンインフラ

自然環境が有する多様な機能（生きものの生息・生育の場の提供、雨水の貯留・浸透等による防災・減災、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）を積極的に活用して、さまざまな効果を得ようとする取り組み。

※2 令和7年度「グリーンインフラまちづくりの推進」

ガイドライン策定その他、啓発スポットの整備、道路等への雨庭の導入、山崎川周辺での雨水浸透の取組を実施しています。

事項名	概要
啓発スポットの整備	名城公園において、生物多様性に配慮した緑化、雨水流出抑制等のための雨庭、ヒートアイランド対策のための舗装を取り入れた啓発スポットを整備します。
道路等への雨庭の導入	市内道路へ雨庭の実装を推進するため、三の丸地区で試験整備を実施します。
山崎川周辺での雨水浸透の取組	市民・事業者の雨水浸透の取り組みを促進させるため、湧き水が重要な水源である山崎川の周辺に位置する瑞穂公園に雨水浸透施設をモデル設置します。



道路等への雨庭の導入（試験整備予定）